



平成27年度吉野町協働のまちづくり推進交付金 交付団体紹介

活動の様子	活動内容及び、期待する効果・目標
<p>吉野川左岸の景観を守る会 【3年目】</p> 	<p>事業名[樹木・花の植え付け・管理等の事業 内容：学生の通学路や住民の散歩道として多くの方々が利用している吉野川左岸の道沿いに桜（河津桜）の植樹、花の植え付け、清掃等の環境整備を行い、季節の花を楽しめる景観づくりを行っている。</p> <p>【平成27年度】 吉野川の左岸に河津桜の並木道をつくるため現在吉野土木事務所前から柿の葉ずし平宗吉野本店前までの約800mの間に植樹を行った。その下に位置する東屋（吉野高校の生徒さん作）への遊歩道の整備や貯木地区の歴史を伝える史跡紹介看板も設置した。活動については、CVYへの投稿を積極的に行ったことでPRしている。交付金の申請可能期間（3年間）を終えたが、桜が大きくなり次の段階に進めるまでには、まだ数年かかる。夏場の草刈りなどには、人出が必要だが参加者が少なくて苦労している。同じ志で活動に参加していただける方を募集している。平成28年度からは、教育委員会を通じて町内の子どもたちとともに、自然と関わりながら行う景観づくりをめざします。</p>
<p>吉野町祭文踊り保存会 【1年目】</p> 	<p>事業名「古い時代からの伝統有る踊りの継承」 内容：「祭文踊り」等踊りの文化の継承と地域行事の活性化を図る。また、子どもたちが地域文化に触れる機会づくりや高齢者福祉施設の訪問などを行いながら地域の活性化を図る。</p> <p>【平成27年度】 今年度は、御園地区、国栖地区において“祭文踊り保存会”を立ち上げることができた。また、宮滝野外学校を管理運営する大阪の一般財団法人大阪府青少年活動財団の協力のもと、子どもたちに踊りの歴史を伝え、体験していただくことができた。また、吉野町各地域の盆踊り大会に参加したり、リバーフィールドよしのでの盆踊り大会を開催し、祭文音頭の存在と歴史を伝える活動を行った。今後は、高齢者の健康づくりに活かしてもらえる取り組みや、新会員（踊りを理解し、継承してくれる世代）を継続的に増やす取り組みを行いたい。</p>

吉野町木工教室

【1年目】



事業名「木のプロ吉野の製材所が教える「木のモノづくり」教室」

内容：吉野材の魅力をより多くの人に体感していただくため、製材所や工務店の会員が自ら教室の“先生”となって、子どもたちを中心に木工教室を行っている。また、親子で参加できるイベントなども開催し、幅広い世代が木と関わる機会をつくる。

【平成27年度】

橋屋地区の喜多製材所を会場に、8月、11月に親子連れを対象にした木にかかわる機会づくりとして木工教室を開催した。おもちゃのドールハウス、コリントゲーム機づくりから、リクエストに応じて靴箱づくりなどを行った。大工を職業にするスタッフが指導を行いながら木や道具の取り扱いについて知っていただいた。参加者が参加者を呼ぶ形で、町内県外からの参加者もみられた。また、大阪工業技術専門学校へ訪問し、取り組みの説明を行うなどこれから木材関係事業での自立を目指す若い世代にも積極的にPRを行っている。

今後は、年間を通して作る大きな作品や住まいのDIYなど、大人を対象にする教室も行っていきたい。

吉野薬草研究会

【1年目】



事業名「吉野で薬草を育て、農業資源としての確立をめざす」

内容：薬草や香草を栽培・加工・販売まで行い、吉野町の特産品開発を行う。町内の耕作放棄地の活用や若者の就農者の増加を目指して活動を行っている。

【平成27年度】

今年度は、薬草を身近なものとして知っていただけるよう薬草利用の茶葉の試作を行った。トウキ・ヨモギ・ドクダミなどをブレンドしたり、粉末にしてドレッシングに混ぜるなど香草としても楽しめることがわかった。秋には、里山の味覚とともに薬草を使用した弁当のメニューを試作し、販売も行った。また、立ち上げ期のため会員の勉強会として、薬草の栽培や活用の先進地である静岡県三島市の「NPO法人グランドワーク三島」の取り組みや和歌山県高野町の富貴地域を視察。

今後は、土質を専門機関に検査していただき適地を探しながら、吉野町での栽培者数を増やしたり、薬膳料理の普及や弁当の販売路拡大を目指す。また栽培者同士の情報交換会や勉強会を継続して行っていきたい。

bunko café 木の子 【2年目】



事業名「文庫カフェ」

内容：柳地区の木の子文庫においてカフェスペースを設け、子育て家庭の親子、地域の方が集い、情報発信、情報交換のできる参加型空間を提供することにより、互いに学びあい、交流できる場所づくりを行っている。

【平成27年度】

2年目の活動となり、参加するスタッフの間で連携がスムーズになってきている。活動はほぼ毎週、土曜を中心に行うことができ新しいスタッフや参加者も町内外から増えてきている。参加する母親同士の人のつながりで、アイシングクッキーの体験教室、フランス菓子を味わえる特別なカフェイベント、吉野材を利用したカウンターづくりなど、立ち上げ当初の構想よりも人のつながりや活動の幅が豊かに広がってきており、活動の可能性が見えてきている。

今後は、活動拠点を三茶屋に移り拠点が大きくなり開館数も増やす予定。また、協力して下さるお母さん方に少しでも収益をとってもらえるようにできないか検討している。3年目以降も活動を継続するための収益確保が課題となっている。

吉野・富良野交流の会 【2年目】



事業名「吉野と富良野の観光交流事業」

内容：吉野町民と富良野への入植者に吉野と富良野の関係を再認識してもらい、相互交流を通じて、吉野町と富良野市の観光交流を図ることにより、吉野町の活性化に寄与していくことを目的としている。

【平成27年度】

昨年は富良野市から吉野町の「吉野まつり」に出店いただいた関係から、今年7月に富良野市で行われる「北海へそ祭り」（参加者2日間約7万人）にて、吉野町の物産を販売した。大和の茶粥と柿の葉ずしも販売し、吉野町との関係をPRした。9月には、富良野御料地区内の入植碑のある広場にて、吉野町長、議長とともに桜の苗木を植樹祭を行った。当時の入植者の子孫と出会い、交流を始められたことは互いの先祖の心意気を大切にできる機会であるため、多くの人に知っていただきたい。

今度は、吉野町と富良野市との観光交流協定への働きかけや、両イベントへの関わりの継続方法を模索している。また、富良野市では外国人観光の受入れについても積極的に取り組みを行っていることから、吉野町でも取り組みを検討したい。

菜摘ファーム

【2年目】



事業名「果樹園（無花果）の運営事業」

内容：休耕地を活用し、無花果等の生産準備、農園の施設づくりを行う。また、栽培から販路確保までを手がけ、地域雇用の創出、地域活性化を目指している。

【平成27年度】

1年目は、栽培に関する事前勉強会や視察、土壌の整備と作付け、配水パイプの設置等の作業を行った。2年目は、果樹の剪定と苗木の保護作業や肥料の調節など、育成が中心であった。各年の気候の変化に影響を受けるため、良い品質の果実を収穫するためには、いろいろな工夫や管理作業が必要となる。また、鳥獣の被害を防ぐため防護ネットを農園に張り巡らせる作業を行った。近隣の方から収穫の際の手伝いを申し出ていただくなど協力者が広がっている。

今後は、収穫の準備と有害鳥獣対策や作業人員の確保などが課題となる。また、収穫した果実の販路や加工の提携先確保など、進めていく。